

医療分野のEL照明



タカハタ電子（山形県米沢市、安房毅社長、0238・37・3355）は、有機エレクトロ・ルミネッセンス（EL）照明を用いたナースライト（写真）の海外普及を目指す。28日から4日間、ドイツ・デュッセルドルフで開催される世界最大級の介護・リハビリ関係展示会「REHAC

ARE2016」に自社ブースを設け、欧州のニーズを探る。同社のナースライトは、高演色な有機EL照明の医療分野への展開に向け商品化した。展示するのは、2013年に市場投入した初代機を、国内20以上の病院など現場の意見を反映して5月に発売した新型モデル。使用光源は調色型有機ELで環境用途に応じて光を調色できる。今回の出展は、経済産業省の委託事業「地域中核企業創出・支援事業（ハズオン型）」の採択先となった山形県産業技術振興機構（山形市）の支援を受け取り組む。

（山形）

タカハタ電子 海外展示会に出展